

日本心血管理学療法学会「COVID-19 関連情報特別チーム」
海外の専門情報

No.65

調査者	井澤 和夫、加藤 倫卓、山本周平
情報ソースの刊行日	2020 年 12 月 10 日
情報ソースの調査日	2021 年 1 月 9 日
日本理学療法士学会 HP に公開された日	2021 年 1 月 26 日
日本語タイトル	通所リハビリテーション利用者の身体的および心理的状态は COVID-19 パンデミックによる緊急事態宣言の間に衰退したか？
情報ソース	Izawa KP, et al., Did the Physical and Psychological States of Outpatients Receiving Rehabilitation at a Geriatric Health Services Facility Decline during the State of Emergency Caused by the COVID-19 Pandemic? Diseases . 2020 Dec 10;8(4):45.
情報のカテゴリー	生活期の心リハ・その他
発信地域	アジア(日本)
URL	https://pubmed.ncbi.nlm.nih.gov/33321723/
要約	<ul style="list-style-type: none"> COVID-19 パンデミックによる緊急事態宣言の間に医療と福祉の中間施設で、脳血管、腎疾患、整形外科疾患、心疾患などを有する通所リハビリテーション(リハ)利用者(平均年齢、83.5±8.4 歳)の身体的および心理的状态について検討された。 2020 年 4 月から 5 月の緊急事態宣言の前後で、身体的状態として歩行速度(GS)、Timed Up & Go Test (TUG)、握力(HG)、そして最長発生持続時間 (MPT)が、また心理的状态として、日本語版の 5 レベル EuroQoL5 (EQ-5D-5L)が比較検討された。 リハの頻度は、週 1 回から 2 回、運動時間は 20~40 分であった。 身体的状態は、(GS; 前: 0.92、後: 0.92 秒、p = 0.875; TUG; 前: 14.09、後:14.14 秒、p = 0.552; HG;前:19.42、後:19.70 kgf、p = 0.807; MPT; 前: 13.6、後:13.8 秒、p = 0.861)、心理的状态は(EQ-5D-5L; 前: 0.73、後: 0.81 点、p = 0.064)で衰退は認めなかった。 緊急事態宣言中、通所リハは、施設の方針に従い、COVID-19 に対して適切な安全対策を講じつつ継続された。このことが、身体的・心理的状态の衰退を認めなかった要因の一つとなった可能性がある。